

第4回 伏見出張所管内河川レンジャー運営会議 議事要旨（暫定版）

開催日時 : 平成 18 年 2 月 28 日（火） 13:00～15:00
場 所 : 淀川河川事務所 伏見出張所 別館 2 階 会議室
参加人数 : 運営会議委員 6 名、オブザーバー 3 名、事務局 6 名、傍聴者 18 名

1. 決定事項

河川レンジャー年間活動計画（案）（以下、計画案）が運営会議委員の審議を経て決定された。

淀川管内全体の河川レンジャーの活動等を紹介する機関誌を発行する。

3. 懇談会の概要

「第4回 伏見出張所管内河川レンジャー運営会議」について

事務局より委員の出欠および資料の確認が行われた。その後、栗山委員（運営会議代表）より第4回運営会議の開催に際しての挨拶が行われた。

平成 17 年度 河川レンジャーの活動経過報告

永山座長の司会のもと、永山河川レンジャーの協力スタッフである中川氏および松岡河川レンジャーにより、「資料 - 1 平成 17 年度 河川レンジャーの活動経過報告」を用いて、平成 17 年度に実施した河川レンジャーの活動経過報告が行われた。その後、行われた活動について、委員の意見交換が行われた。

主な意見については「3. 主な意見」を参照。

平成 18 年度 河川レンジャー年間活動計画（案）

永山河川レンジャーの協力スタッフである中川氏および松岡河川レンジャーにより、「資料 - 2 平成 18 年度 河川レンジャー年間活動計画（案）」を用いて、平成 18 年度の計画案についての説明が行われた。その後、委員による審議を経て計画案が決定された。

主な意見については「3. 主な意見」を参照。

平成 18 年度以降の河川レンジャー運営会議について

事務局より、「資料 - 3 平成 18 年度以降の河川レンジャー運営会議について」を用いて平成 18 年度以降の河川レンジャー運営会議について、改組およびスケジュールの説明が行われた。

3. 主な意見

<平成 17 年度 河川レンジャーの活動経過報告について>

「京都伏見ジュニア河川レンジャー」に参加している学校の先生の反応はどのようなものか。

小学校 4 年生を対象にしているため、担任は本活動についてよく理解されているが、担当外の先生には、活動があまり認識されていないように感じる。

「リバーズスクール（川とまちの歴史教室）」の参加者の反応はどのようなものか。

好意的な意見が多く、現在、ご批判などは、ほとんどいただいていない。

「伏見三栖自然観察会」への参加者の年齢層や住んでいる地域には、どのような傾向があるのか。

親子での参加者が多いが、若干ながら年齢層の高い方にも参加していただいている。

お住まいの地域は伏見が7割、宇治が3割程度である。

「濠川・宇治川派流 紫陽花・紅葉・ユキヤナギの植樹」は、今年度に植樹する予定であった地域において植樹後の維持管理方法等の協議を行っている最中であるため、予定を変更して別の地域に植樹を行う予定である。

<平成 18 年度計画案について>

「京都伏見ジュニア河川レンジャー機関誌」について、福島出張所管内運営会議においても河川レンジャーの広報誌の提案がなされたこともあり、京都伏見ジュニア河川レンジャーだけでなく、淀川管内全体の河川レンジャーの活動等を紹介する機関誌を提案する。

作成するための負担は大きくなるが、扱う範囲は大きいほうが望ましい。

「京都伏見シルバー河川レンジャー（仮称）」とは、どれくらいの年齢層の方を対象としているのか。

「濠川・宇治川派流 紫陽花・紅葉・ユキヤナギの植樹」を通じて、地域住民から河川整備活動に協力したいという意見をいただいております、そのような方々の力を集めて連携していきたいと考えています。現在はまだ検討段階であるため、活動の名称や対象者の年齢層も含め、活動内容について運営会議等で検討を重ねていきたい。

「伏見リパースクール」への参加者の年齢には下限を設ける必要があるのではないか。

対象は小学校中学年以上を想定している。

「伏見三栖自然観察会」では、活動に参加していない人や、活動にあまり興味のない人にも積極的に活動の内容を伝え、活動の輪が広がっていくことが望ましいと思う。

「山科川周辺改善懇談会」において、平成 18 年度に発足させる新たな組織の座長の候補者は見つかっているのか。

地域住民が中心となる組織であるため、座長は地域住民の中から本人の意思で就任していただきたいと思います。現時点では、座長となる人は未定である。

懇談会の運営にはさまざまな困難が予想されるため、座長となる人を見つけるのは難しいが、地域での盛り上がり等をうまく利用して、新たな組織の立ち上げを進めてほしい。

「節水意識の普及・啓発活動」におけるイベントの内容として挙げられている講演では、どのような人物を招くことを考えているのか。

現時点では未定であるが、たとえば NPO として雨水利用の啓発活動を行っている人などが考えられると思う。河川レンジャーの活動について理解していただき、ご自身の経験などを講演してもらうことを考えている。